

大学防災マネジメント

ー地域とおたがいさまの関係をつくるー

■講師



大槻 知史

(高知大学総合科学系地域協働教育学部門 准教授 立命館大学
歴史都市防災研究所 客員研究員)

1976年京都市生まれ。2004年立命館大学政策科学研究科博士後期課程修了(博士:政策科学)2008年より現職。2012年より高知大学地域支援計画検討WG座長として、大学教職員・学生・地域の協働による大学を核とした地域全体の防災力の向上と避難所運営に備えた事前の仕組みづくりを行っている。

また、大学生による防災授業や防災商品の開発など、防災・震災復興と学生教育の接合による人材育成に取り組んでいる。

■プログラム概要

東日本大震災等の事例を踏まえ、大学キャンパス、大学周辺地区において、大学・学生・地域が現状理解を共有し、負担を分け合いながら「実際に活動する」防災計画を進める必要性について、大学の危機管理、BCP、学生支援の側面から説明する。

あわせて高知大学における「地域支援計画検討WG」の事例をたたき台として、具体的な活動を紹介しながら、防災対策の前提である大学・地域・学生間での「顔の見える関係」のつくり方、学生・地域を巻き込んで大学・地域の防災対策を前に進めるために必要な「場」のデザイン、獲得目標の明確化の必要性、職員・教員間の連携のためのポイント、防災・震災復興を学生の育ちの機会として活用する方法などについて議論を行う。

■主な受講対象

大学事務職員

- ー災害が起きた際に、避難所運営に駆り出されることが予想される方
- ー大学の危機管理・キャンパス地区の地域対応の担当者
- ーBCP担当者、施設管理者
- ー大学・地域連携の担当者

大学教員

- ー防災に関心のある方
- ー地域連携に関心のある方

■本プログラムの到達目標

1. 所属大学における、大学教職員・学生・地域の連携による動的な防災対策の必要性に気づくことができる
2. 大学教職員・学生・地域の連携による防災対策の具体的なアイデアをみんなで出し合い、各人が勤務校で実施するためのヒントと動機付けを得ることができる。

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月28日(木)15:30~17:30

会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育3号館 310番教室

定 員 : 30名